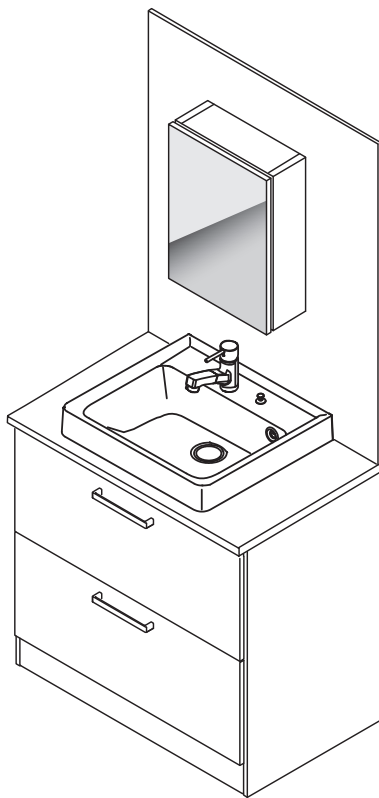


洗面化粧台

取扱説明書 保証書付

ELVITA

エルヴェータ



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

1. ご使用の前に	
1.1. 各アイテムのなまえ	2
1.2. お手入れスケジュール	3
1.3. 定期的な点検	4
1.4. 安全上の注意	5
1.5. 重量に関する規定	9
2. 洗面化粧台全体の使い方	
2.1. 洗面化粧台の使い方	10
2.2. 水栓について	11
2.3. 排水栓について	12
2.4. MGパネル(アンダーパネル)について	13
2.5. 引出しについて	14
2.6. 開き扉について	16
3. こんなときは	
3.1. 主な故障の確認について	18
保証書	19



※左のコードは、下記の番号を意味しています。
商品に関する情報にはアクセスできません。

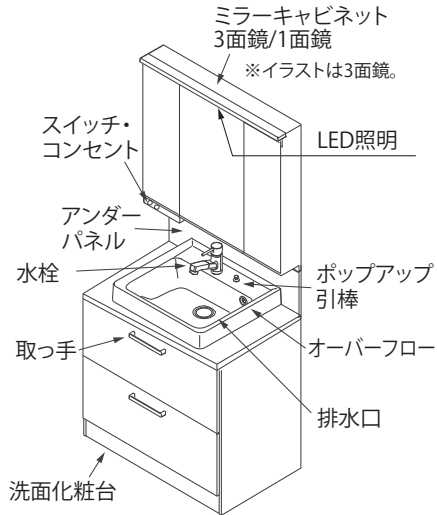
W103302000

1. ご使用の前に

1.1. 各アイテムのなまえ

この取扱説明書においては、使用上支障のない範囲で略図を使用し、または一部実際の商品と異なる部分がございます。不明な点は、お手数ですが、裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

キャビネットセット例

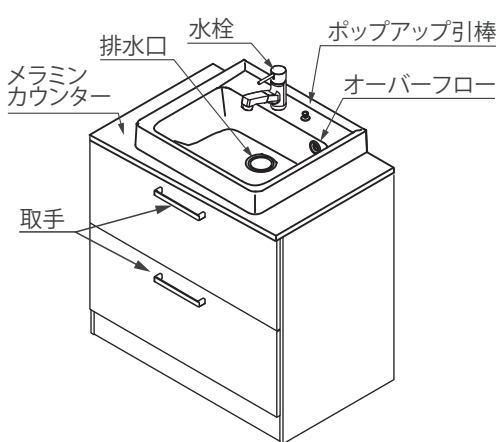


取扱い方法・お手入れに関する動画は、こちらの2次元コードからご覧ください。

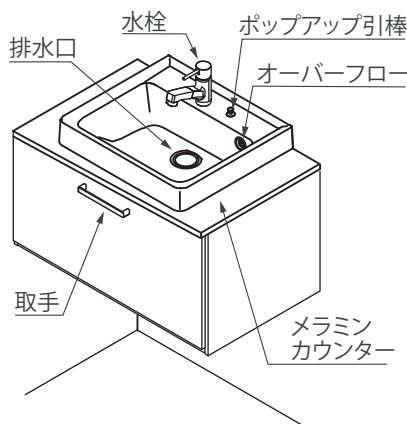


※取扱い方法、お手入れの動画がない商品・部位もございます。
※利用いただく際に発生する通信料などは、お客様のご負担となりますので、予めご了承ください。

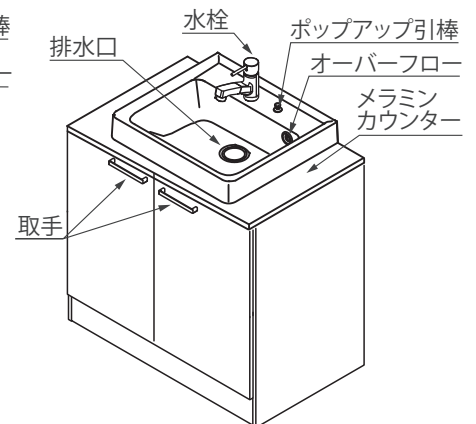
オールスライドタイプ



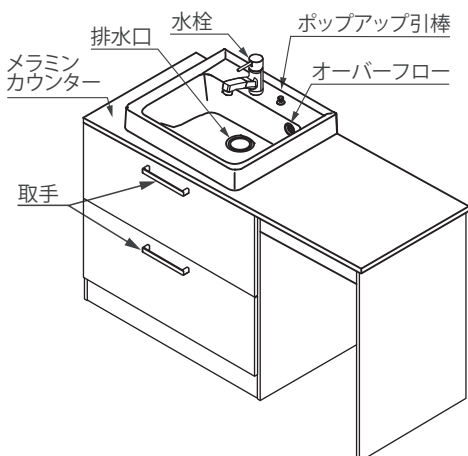
フロートタイプ



開きタイプ

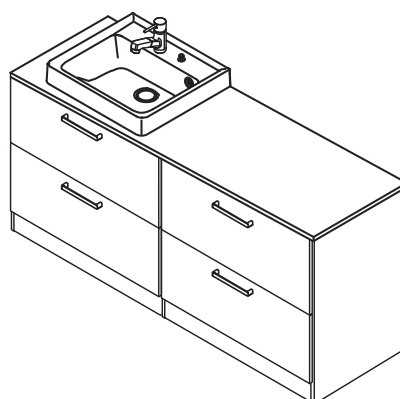


オープンタイプ

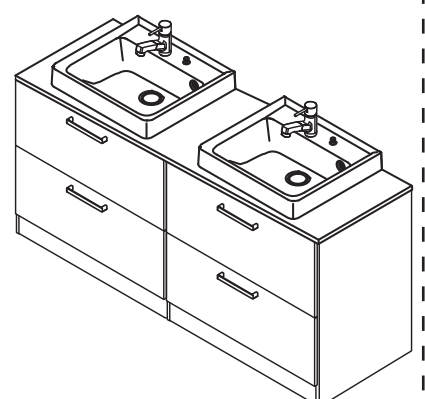


2キャビネット

<2キャビネット片寄せタイプ>



<2キャビネット2ボールタイプ>



1.2. お手入れスケジュール

● お手入れスケジュールのすすめ

- ・ 毎日使う洗面化粧台は、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- ・ 水栓、その他機器関連商品は、それぞれ別冊の取扱説明書をご覧ください。

年間お手入れスケジュール例

期 間	お手入れ内容
毎日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗面ボール / ミラーキャビネット / 鏡 / 扉： 使った都度、石けんカス、飛び散った歯磨き粉などを拭き取る。 ・ 水栓：裏側の見えない部分にも気をつけて拭く。
週一度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミラーキャビネット / 鏡 / MG パネル： 汚れがこびりつかないうちに、早めに汚れを落とす。 ・ 排水口：ヘアキャッチャーをチェックする。つまりを防止する。 ・ 水栓センサー面（タッチレス水栓の場合）： 水またはぬるま湯に浸した柔らかい布で汚れを拭き取る。
月一度	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャビネット内：中のものを取り出してお手入れする。 収納物の整理にもなります。 ・ MG パネル：取り付けているマグネット製品を取り外して、接地面を清掃し、取り付け直す。
半年～年一度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水栓：ストレーナーを外して、汚れをとる。 タッチレス水栓の場合は、電磁弁のストレーナーを外して 汚れを取る。（水栓の説明書を参照） ・ 照明器具に付着しているほこりを落とす。

MEMO

洗剤はお手入れに欠かせませんが、手荒れの原因にもなります。次の事項に気をつけてお手入れしてください。

- ① ゴム手袋を使う。
- ② 適量を使う。
- ③ 使う時間と回数を抑える。
- ④ 熱いお湯で洗わない。
- ⑤ ハンドクリームなどで保湿する。

気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- ・ 化粧品、除光液、マニキュア、クレンジングフォーム、うがい薬、口内洗浄液、歯磨き粉などがついたら、スポンジか柔らかい布に中性洗剤を含ませて、すぐに拭き取ってください。
- ・ もらいサビがあった場合、すぐに対処してください。すぐであれば拭き取れます。
- ・ ミラーキャビネットに汚れがついた場合、すぐにお手入れしてください。
3面鏡のお手入れ方法は、3面鏡の取扱説明書を参照してください。

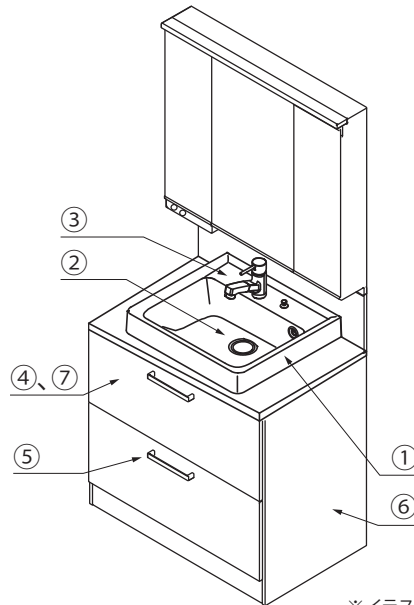
1. ご使用の前に

1.3. 定期的な点検

定期的な点検のすすめ

商品は長期間お使いいただくことで、経年劣化していきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。また、使用時に、部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。そのまま放置していると思わぬ事故の恐れがあります。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙



※イラストは3面鏡。

点検箇所	点検の種類	点検方法	症状	想定される被害
①洗面ボール・カウンター	水漏れ点検	洗面ボールやカウンターにひび割れや傷がないか確認してください。	ひび割れや傷	水漏れによる家財などの破損、破損部接触によるケガ、カウンター基材のふくれ。
	安全点検 水漏れ点検	洗面ボールにガタつきがないか確認してください。	ボールのガタつき	水漏れによる家財などの破損
②排水器具	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れによる家財などの破損
③水栓金具	水漏れ点検	水栓金具を操作して、本体やレバーにガタつきがないか確認してください。	本体やレバーのガタつき	水漏れによる家財などの破損
	安全点検	レバーを操作して温度調節が適正にできるか確認してください。	温度調節ができない	熱湯によるやけど
	安全点検	水栓金具本体やシャワーヘッド、操作レバーなどのめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内の配管、接続部、シャワーホースの水漏れ	水漏れによる家財などの破損
④扉	安全点検	扉を開閉して、変形やガタつき、異音がないか確認してください。	変形やガタつき、異音	落下によるケガおよび家財などの破損
	安全点検	扉の表裏面にひび割れやはがれがないか確認してください。	ひび割れや表面のはがれ	破損部接触によるケガ
⑤取っ手	安全点検	取っ手のめっき部にはがれがないか確認してください。	表面のはがれ	表面のはがれによるケガ
⑥キャビネット	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内で水が漏れている	水漏れによるキャビネットおよび家財などの破損
⑦引出し	安全点検	引出しに変形していないか、ガタつきがないか確認してください。	変形やガタつき	落下によるケガおよび家財などの破損

点検の結果、不備があった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

1.4. 安全上の注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。



注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。



禁止

このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です



必ず実行

この図記号は、商品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



注意

このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、注意を喚起するための図記号です。



警告



分解禁止

分解、修理、改造をしない。

感電や器具の破損、火災の原因になります。



必ず実行

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源スイッチとブレーカーを切る。

火災・感電の原因になります。



禁止

ぬれた手でスイッチやコンセント、照明器具などの電気部品に触れない。

感電や器具の破損、火災の原因になる恐れがあります。



注意

MG パネル（アンダーパネル）にマグネット製品を使用する際は、電子機器類への影響に注意する。

マグネット製品を使用する場合、ペースメーカーやその他医療用電子機器類、精密な電子機器類に悪影響を及ぼす恐れがあります。ペースメーカーをご使用の方は、必ず 30cm 以上離してご使用ください。



必ず実行

ミラーキャビネットおよび水栓については、商品に付属の取扱説明書を参照する。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



注意

洗面化粧台全体

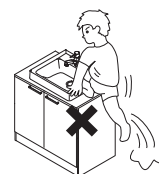


禁止

洗面化粧台のカウンターの上に乗ったり、過度にもたれかかったりしない。

ケガや、下記のような商品の破損から、事故につながる恐れがあります。

- ・フロートタイプの場合：キャビネットの落下。
- ・オープンタイプの場合：カウンターの破損。



1.4. 安全上の注意

⚠ 注意

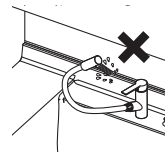
洗面ボール



禁止

カウンターと壁（または、アンダーパネル）の間に、水をかけない。

水がこぼれて、壁や床がぬれてしまう恐れがあります。



禁止

熱湯（60℃以上）を洗面ボールに流さない。

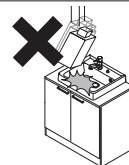
洗面ボールや排水器具の変形・破損の恐れがあり、水漏れにつながります。



禁止

洗面ボールやカウンターに衝撃を与えない。

傷がついたり、割れたりする原因になります。



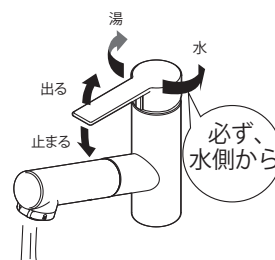
水 栓



必ず実行

水栓の使用前には、必ず温度をレバーで調節し、適温であることを確認してから吐水する。また、温度調節は、湯温を確かめながら、できるだけゆっくり操作する。

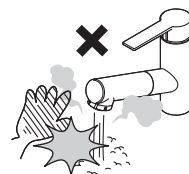
水栓および熱湯でやけどをする恐れがあります。特に、お子様のいらっしゃるご家庭では気をつけてください。



禁止

湯を出しているとき、水栓の吐水部には触れない。

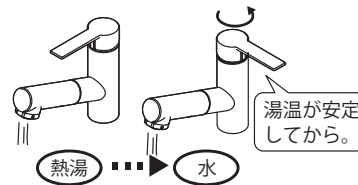
水栓の吐水部が高温になり、やけどをする恐れがあります。



必ず実行

高温のお湯を使った後は、しばらく水を流す。また、お湯を使用した後で次に使用の際は、しばらく水を流してから使用する。

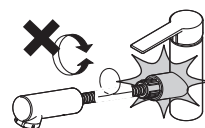
次に使用するとき、水栓内に残っている高温のお湯が出てやけどをする恐れがあります。



禁止

シャワーホースを無理に引っ張ったり、ねじったりしない。

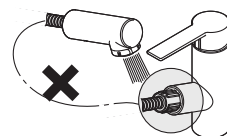
水栓が破損して、水漏れにつながります。



禁止

ホース収納口や、水栓取り付け部に水をかけない。

キャビネット内に水が入り、家財などをぬらす恐れがあります。



アンダーパネル



禁止

パネルに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

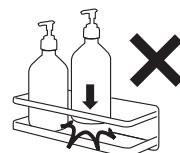
傷などの損傷、破損の原因になります。



必ず実行

MG パネルの場合、マグネット製品を使用する前に、収納物に対して保持力が十分かを確認する。

- ・マグネット製品に設定されている耐荷重や使用方法を守ってご使用ください。
- ・マグネット製品に記載されている耐荷重よりも性能が落ちる場合がございますので、ご使用前に必ず、収納物を置いても落下しないかをお客様自身でご確認ください。
- ・取り付ける場所によって（パネル表面の汚れ、パネルの継ぎ目や凹凸などがある場所、ぬれた場所など）保持力が弱まる場合があります。
- ・耐荷重制限内でも大きな衝撃や勢いをつけて物を置くことにより、マグネット製品が落下することがあります。



マグネット製品の落下により、ケガや製品の破損、家財の損傷の原因になります。

キャビネット



必ず実行

扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直す。

扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

参照 2.6. 開き扉について P.16



禁止

扉や取っ手、および引出しにぶら下がったり、扉を大きく開けすぎない。

扉や取っ手、および引出しが外れて、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

引出しの取り外し、取り付け、調整などをする際、またはキャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分注意して行う。

手や指などにケガをする恐れがあります。



禁止

扉を開閉するときは、丁番に触れない。

丁番に指をはさみ、ケガをする恐れがあります。

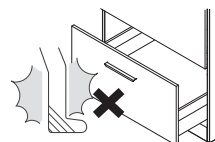
●スライド収納



禁止

スライド収納を引き出したまま、作業しない。

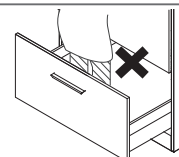
足をぶついたり、手に持っているものを落としたりして、思わぬケガをする恐れがあります。



禁止

スライド収納を引き出して、足場代わりにしない。

転倒してケガをしたり、商品の破損をまねく恐れがあります。



1.4. 安全上の注意



鏡



禁止

鏡に洗剤（ガラスクリーナーを含む）、洗剤を直接かけない。

鏡とミラーキャビネット本体の間に浸入し、鏡の銀が腐食、変色、変質する恐れがあります。



禁止

鏡に強酸性、強アルカリ性の液（トイレ洗剤・アセトン・カビ取り剤など）、アンモニア系、シンナー、ベンジンなどの揮発性物質は使用しない。

鏡の表面、鏡の銀が腐食、変色、変質する恐れがあります。



必ず実行

くもり止めコーティングのついた鏡をお使いの場合は、付属の取扱説明書を参照する。

使い方を誤ると、思わぬ事故や破損の原因になります。

組込機器類など



必ず実行

洗面化粧台に組み込まれている機器、市販の機器などについては、それぞれの商品に付属の取扱説明書および商品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

洗剤類



必ず実行

洗面で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他の薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、洗面化粧台本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。



禁止

固形または粉末の塩素系洗剤（ヌメリ取り剤など）・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない。また、保管の場所や方法に十分注意する。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる恐れがあります。その他の洗剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

1.5. 重量に関する規定

注意

必ず実行

収納量は下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、引出しの破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

※カウンター上の耐荷重は 80kg です。(ただし、フロートキャビネットの耐荷重は壁面の強度によるため、過度に荷重をかけると、思わぬ事故や故障の原因となります。)

	部位	耐荷重
洗面化粧台	スライド収納 1 段当たり (オールスライドタイプ、フロートタイプ)	20kg
	キャビネット内への荷重 (開きタイプ)	20kg

MEMO 目安として、収納物 1 個当たりの参考重量は以下のとおりです。

収納物	参考重量
洗濯用洗剤 (大箱)	4kg
洗濯用洗剤 (小箱)	1.2kg
柔軟剤・漂白剤 (ボトル)	2kg
シャンプー、リンス (ボトル)	0.8kg

2. 洗面化粧台全体の使い方

2.1. 洗面化粧台の使い方

● 使用上の注意

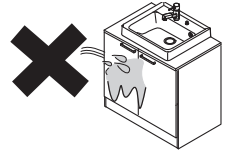


禁止

キャビネット、カウンターや扉に、水などをかけない。また、水などでぬれた場合は、すぐに拭き取る。

ぬれたまま放置すると、表面材の変色・変質・ふくれ・はがれの原因になります。また、カウンター面に傷がある場合、水がしみ込みふくれが発生する恐れがあるので使用を中止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙



禁止

酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しない。万一付着した場合は、すぐに拭き取る。

洗面ボールやキャビネット、扉、ミラーキャビネットの変色・変質の恐れがあります。また、樹脂部品の収納トレイ・収納棚は割れる恐れがあります。



禁止

研磨材入りの洗剤（クレンザーなど）・研磨粒子入りの洗剤（不織布など）やタワシは使用しない。

表面に傷がつき、光沢が失われる原因になります。また、洗面ボールやキャビネット、扉の変色・変質の恐れがあります。



禁止

水栓には、酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤は絶対に使用しない。

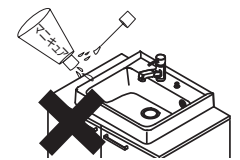
破損する恐れがあります。



必ず実行

化粧品、除光液、マニキュア、クレンジングフォーム、うがい薬、口内洗浄液、歯磨き粉などがついたら、スポンジか柔らかい布に中性洗剤を含ませて拭き取る。

扉やキャビネット、洗面ボールの変色・変質の恐れがあります。



必ず実行

毛染めを行う場合は、洗面ボール内に水をためるか、新聞紙などを敷いて使う。

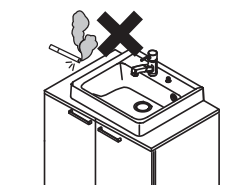
一部の毛染め剤で洗面ボールが変色する恐れがあります。



禁止

洗面ボールやカウンターの上に、鉄製のもの（ヘアピンなど）を放置しない。また、火のついたタバコを置かない。

サビが付着して落ちにくくなります。洗面ボールが傷み、焼け焦げる恐れがあります。



必ず実行

扉に歯磨き粉が付着したら、すぐにスポンジか柔らかい布に中性洗剤を含ませて拭き取る。

扉にあとがつく恐れがあります。

● お手入れのしかた

1. スポンジか柔らかい布に中性洗剤を含ませて汚れを拭き取る。
2. ぬれた柔らかい布で洗剤分を拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で乾拭きする。

注意 排水口や水栓の拭き取りにくい部分の汚れは、歯ブラシなどを使って落としてください。

2. 洗面化粧台全体の使い方

2.2. 水栓について

使用上の注意



必ず実行

水栓を使用する前に、キャビネット内の止水栓を調整する。

湯水の出を多くしすぎた場合、水はねや水あふれの恐れがあります。快適に水栓をご使用いただくために約8ℓ/分程度の流量を推奨します。水はねが多い場合は、止水栓で調整してください。

MEMO 8ℓ/分の目安とは、1ℓの容器が8～9秒でいっぱいになる流量です。

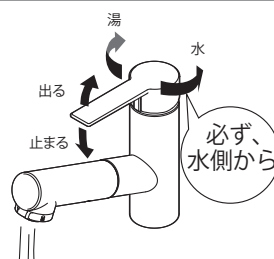
〈止水栓(一例)〉



必ず実行

水栓を使用するときは、必ず水を先に出す。また、必ず温度の調整を行う。

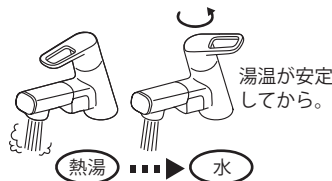
水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、お子様のいらっしゃるご家庭では気をつけてください。



必ず実行

高温のお湯を使った後は、しばらく水を流す。また、お湯を使用した後で次に使用の際は、しばらく水を流してから使用する。

次に使用するとき、水栓内に残っている高温のお湯が出てやけどをする恐れがあります。



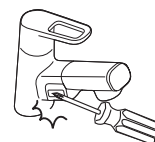
● タッチレス水栓



禁止

センサー面を傷つけない。

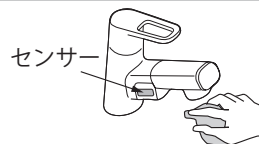
器具が破損したり、誤作動する恐れがあります。



必ず実行

センサー面に付着した汚れや水滴を拭き取る。

センサー面に汚れや水滴が付着していると誤作動する恐れがあります。



必ず実行

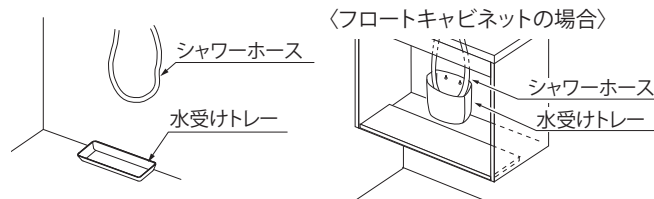
水が出ない、止まらない、勝手に出るなどの不具合があった場合は水栓の取扱説明書を参照する。

参照 その他のご使用方法については、水栓に付属の取扱説明書を参照してください。

使い方

水受けトレイについて

ハンドシャワーとして使用する場合は、シャワーホースに水がかかると、ホースづたいにキャビネット内部に水が入り込むことがあります。その水を受けるようにキャビネット内に水受けトレイがついています。



2. 洗面化粧台全体の使い方

2.2. 水栓について

タッチレス水栓について

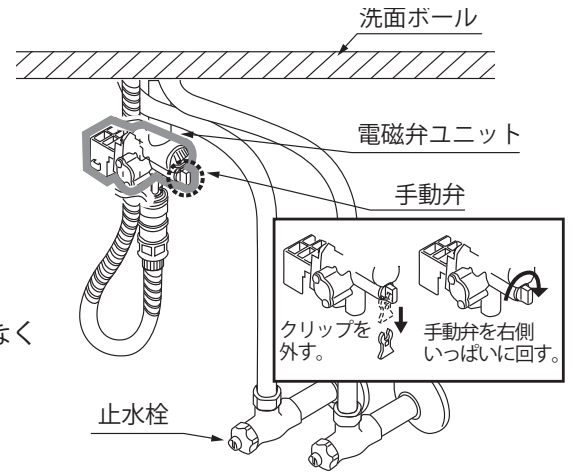
タッチレス水栓の場合、停電時は水が出なくなります。水栓に付属の取扱説明書をご確認のうえ、手動操作ができるように対応してください。

●停電および故障時の緊急対処

停電や万一の故障時には、復帰するまでの応急処置として、電磁弁ユニットの手動弁を操作することで、センサーに関係なくレバーハンドルのみで吐水・止水ができます。

手動弁は非常時にのみ操作し、復帰後に戻してください。

手動弁を戻さないとセンサーで操作できません。



2.3. 排水栓について

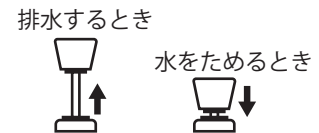
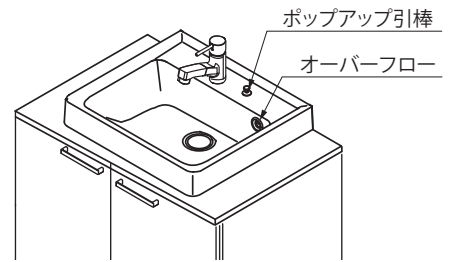
使い方

注意 排水栓は一時的に水をためるものです。長時間、水をためたまま放置すると、徐々に排水される場合があります。

ポップアップ排水栓の使い方

ポップアップ引棒を押すと、一時的に水をためることができ、いっぱいまで引くと排水されます。

注意 ・水をためた洗面器を置いたまま、ポップアップ引棒を操作しないでください。故障する恐れがあります。
・大量に泡を流すとオーバーフローから泡が出ることがありますが、異常ではありません。



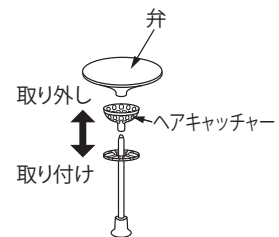
お手入れのしかた

ヘアキャッチャーのお手入れ

ヘアキャッチャーに髪の毛や糸くずがつまっていると、洗面ボールの排水が悪くなります。こまめに取り除いてください。

ヘアキャッチャーの取り外し方・取り付け方

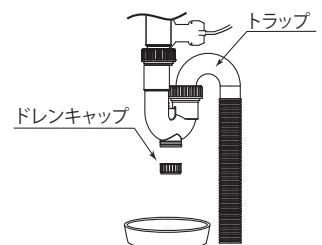
ヘアキャッチャーは、右図のように取り外し、取り付けができます。洗面ボールに水がたまらない原因になりますので、取り付けの際は、弁をしっかり取り付けてください。



排水トラップのお手入れ

トラップ部分に髪の毛やゴミなどが詰まった場合は、ドレンキャップを外して、ゴミを取り除いてください。

キャップを外すと、たまった水が出ます。必ず洗面器などを置いて水を受けてください。



2.4.MG パネル（アンダーパネル）について

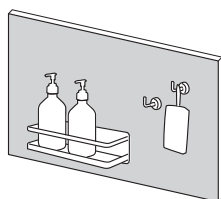
この商品はマグネットが取り付けられるパネルです。

マグネット製品を使用する場合、ペースメーカーやその他医療用電子機器類、精密な電子機器類に悪影響を及ぼす恐れがあります。ペースメーカーをご使用の方は必ず 30cm以上離してご使用ください。

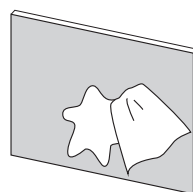
※ MG パネル（アンダーパネル）自体は磁力を発していません。

注意

マグネット製品をお使いになる際は、あらかじめ保持力の確認をお客様ご自身で行ってください。万一、磁石の落下によるケガおよび損害が発生した場合、また、磁石の使用による化粧面の損傷は、当社およびその販売会社では責任を負いかねますのでご了承ください。



マグネット製品を取り付けることができます。
お客様自身でアイテムを組み合わせてお好きな位置に取り付けて収納ができます。



耐水性の高い素材なので、水はねをしても安心です。
水や汚れが染み込みにくいので、さっと拭くだけで、キレイにお使いいただけます。

使用上の注意



禁止

硫酸・塩酸などの強酸、「酸性」の表示のある洗剤、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使用しない。

変質・変色・サビの原因になります。



禁止

粒子の粗い、または研磨材含有量が多いクレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。

傷がつく恐れや、表面のつやが変わる恐れがあります。

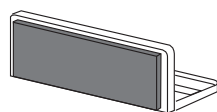


注意

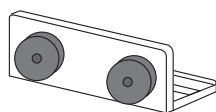
マグネット製品を取り付ける場合は、パネル部に傷がつきにくい製品（ラバー製マグネット製品を推奨）を使用する。

傷などの損傷、サビや破損の原因になります。

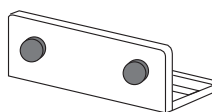
MEMO 傷がつきにくく、保持力が高いため、下記のようなマグネットを推奨しています。



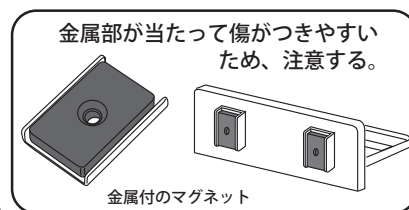
マグネット面積：大
ラバーマグネット他



マグネット面積：中
ネオジムマグネット他



マグネット面積：小
ネオジムマグネット他



金属部が当たって傷がつきやすいため、注意する。

金属付のマグネット

保持力
大 ←

→ 小



必ず実行

マグネット製品を使用する前に、収納物に対して保持力が十分かを確認する。

マグネット製品に記載されている耐荷重よりも性能が落ちる場合がございますので、ご使用前に必ず、収納物を置いて落下しないかをお客様自身でご確認ください。
マグネット製品の落下により、ケガや製品の破損、家財の損傷の原因になります。



必ず実行

マグネット製品を取り付ける際は、取り付ける面をよく拭いてから取り付ける。

MG パネル（アンダーパネル）がぬれていたり、汚れがついたままマグネット製品を取り付けると、保持力が弱まり、落下の恐れがあります。



禁止

マグネット製品をパネルに擦りつけたり、トレーの角など鋭利な部位を当てない。また、破損したトレーやさびた製品を使用しない。

傷などの損傷、サビや破損の原因になります

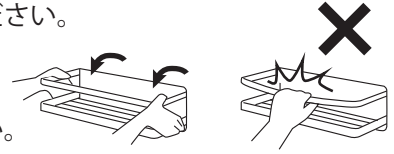


収納物を置いたまま
ずらさない。

2.4.MG パネル（アンダーパネル）について

● 使い方

- ・マグネット製品は、マグネット製品の取扱説明書をよく読んでご使用ください。
- ・マグネット製品の着脱は、マグネット製品の取扱説明書に従って正しい方法で行ってください。
着脱の際は、収納物を取り出した後に、両手で支えながら行ってください。



注意 無理な力をかけると、マグネット製品だけでなくパネルの破損につながる恐れがあります。

- ・マグネット製品を使用する際に、水栓や鏡扉などが当たらない位置であることを確認してください。
- ・タッチレス水栓の場合は、センサーの範囲外であることを確認して使用してください。

● お手入れのしかた

定期的にパネル表面をお手入れしてください。マグネットの接地面に汚れや異物があると、保持力の低下につながります。

通常のお手入れ

水を含んだ布または中性洗剤をつけた柔らかい布またはスポンジで汚れを落としてください。
洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

月に一度

マグネット製品を取り付けている場合は、月に一度は取り外して接地面を清掃し、取り付け直してください。

- 注意**
- ・お手入れの際は、必ず全てのマグネット製品を取り外してからお手入れしてください。マグネット部に洗剤がかかると、マグネットの保持力低下の原因になります。
 - ・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなるため、気づいたらお手入れをしてください。
 - ・長期間マグネットが接触していると、マグネットの色がパネルに移り、跡が残る場合があります。

2.5. 引出しについて

● 使用上の注意



必ず実行

キャビネットには、容器の水分をよく拭き取ってから収納する。

ぬれたまま収納して放置すると、キャビネットの木が水を含み傷む恐れがあります。



必ず実行

酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤、漂白剤、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を収納する場合、容器からの液垂れがキャビネット本体に付着しないよう、トレーなどの敷物を用意して使用する。

容器からの液垂れを付着したまま放置すると、腐食・サビ・劣化の恐れがあります。



必ず実行

固形または粉末の塩素系洗剤（ヌメリ取り剤など）・漂白剤の保管方法には、十分な注意をする。その他の洗剤、漂白剤などは、使用上の注意をよく読んで使う。

塩素系の洗剤、漂白剤は、水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる恐れがあります。



必ず実行

ねじのゆるめすぎに気をつける。

引出しが落下し、ケガの恐れがあります。

2. 洗面化粧台全体の使い方

2.5. 引出しについて

● 使い方

引出しの脱着

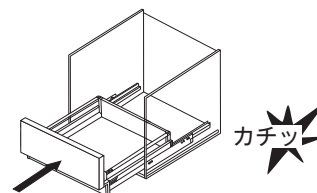
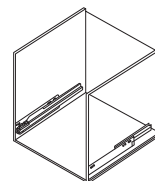
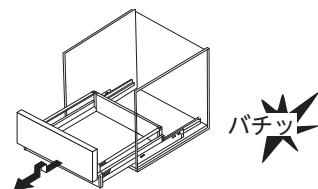
注意 引出しを外すときは、収納物を出してから外してください。
予想以上に重い場合があります。

取り外し方

1. 引出しをストップするところまで引き出し、少し持ち上げて
（“バチッ”と音がしてロックが外れます）、レールと平行に静かに引き出す。

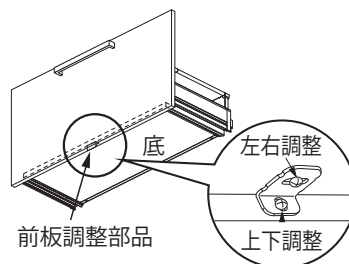
取り付け方

1. 受けレールを奥まで入れる。
2. 引出しの奥 1/3 くらいを受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す。（“カチッ”と音がしてロックが掛かる。）

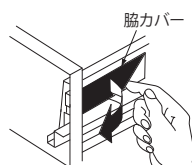


引出し前板の調整

扉裏面と引出し底板に前板調整部品がついています。
引出し調整の際は、必ずねじをゆるめて調整してください。
調整後、必ずねじを締め直してください。



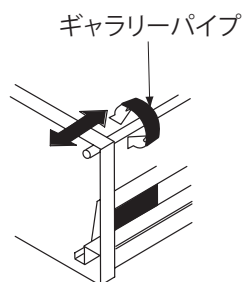
1. 脇カバーを外す。



下側を上押し気味に外す。

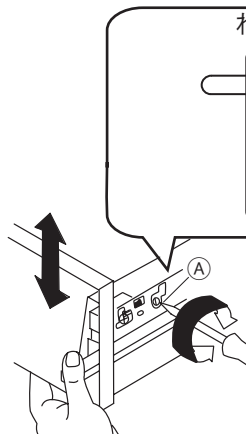
2. 調整する方向によって、下図のようにねじを回す。

〈前板傾き調整〉
(ギャラリーパイプ付の場合)



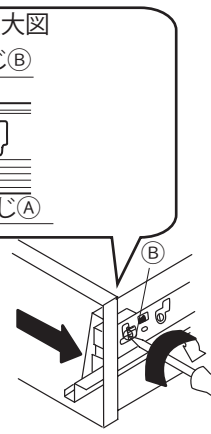
ギャラリーパイプを左に回すと手前に
右に回すと奥に動きます。

〈上下調整〉



ねじAを左右に回します。

〈左右調整〉



ねじBを手前側に回すと左に
奥側に回すと右に動きます。

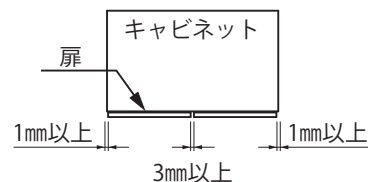
2. 洗面化粧台全体の使い方

2.6. 開き扉について

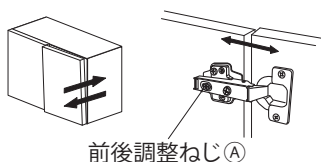
● 使い方

扉の調整

- 調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は、丁番と座を取り付けているねじをしっかり締め付けてください。
- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が1mm以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が3mm以上になるようにしてください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。

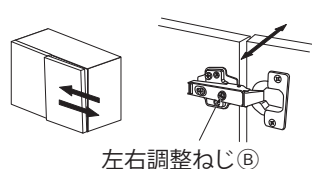


● 前後調整



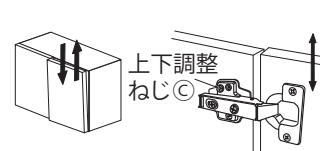
ねじ(A)をゆるめ、扉の前後を合わせた後、ねじ(A)を締め直します。

● 左右調整



ねじ(B)を右に回すと扉が外側に、左に回すと扉が内側に動きます。

● 上下調整



ねじ(C)をゆるめて扉を上下に調整した後、ねじ(C)を締め直します。

注意 ねじのゆるめすぎには気を付けてください。扉が落下してケガをする恐れがあります。

丁番のお手入れ

丁番は、ときどき汚れやほこりを取り除いてください。また、ときどき潤滑油などを注油していただくと、開閉がなめらかになります。

注意 潤滑油などが扉などにつかないように気をつけてください。扉などに油がしみ込み、変色する恐れがあります。

3.1. 主な故障の確認について

こんなとき		症状や原因	対応方法	参照頁
水栓	水栓の水の出が悪い。	止水弁が締まっている。	キャビネット内の止水栓を開いてください。	11
		泡沫金具にゴミがつまっている。 ※はじめて使用になるとき、または水量が少ないときは、シャワーヘッドや吐水パイプに配管のゴミなどがつまっている場合があります。	水栓に同梱される専用の取扱説明書を参照してください。	11
金具	水の出が強い。	止水栓が開きすぎている。	キャビネット内の止水栓を閉めてください。	11
タッチレス水栓	勝手に出る / 止まる / 水が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーの不具合。 ・センサーが汚れている。 	センサー部のお手入れをする。 ※水栓に同梱される専用の取扱説明書を参照する。	11
	停電時に水が出ない。	電磁弁が閉じている。	応急処置として、電磁弁ユニットの手動弁を操作し、レバーハンドルでの吐水・止水ができるようにする。	12
排水栓	排水の流れが悪い。	ヘアキャッチャーにゴミがたまっている。	ヘアキャッチャーのゴミを取り除く。(P.12「2.3. 排水栓について」を参照。)	12
		排水トラップにゴミがたまっている。	排水トラップのゴミを取り除く。(P.12「2.3. 排水栓について」を参照。)	12
水受けトレイ	水受けトレイに大量の水がたまる。	水栓と洗面ボールの固定がゆるんでいる。	キャビネット内の止水栓を閉じ、修理を依頼してください。 (P.11「2.2. 水栓について」、P.20「修理の依頼について」を参照。)	11 20
		シャワーホース接続部から水が漏れている。		
キャビネット	扉がガタつく。	丁番がゆるんでいる。	丁番の調整をする。 (P.16「2.6. 開き扉について」を参照。)	16

保証書

◎ 洗面化粧台用

シリーズ・品番	洗面化粧台 エルヴィータ		出張修理
保証期間	取付・設置日から2年間	★取付・設置日	年 月 日
★お客様	ご住所	TEL ()	(印) またはサイン
	お名前		
★販売店	住所 店名	TEL ()	

見本

ご販売店様へ 上記★印欄は必ず記入してお渡してください。

無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。

2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や改造による故障および損傷。
- (2) 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
- (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。
- (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
- (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
- (7) 瑕疵によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
- (8) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧、周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。
- (9) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管、のつまりなどの不具合。
- (10) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
- (11) 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
- (12) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
- (13) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸・強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤など)の使用により発生した損傷。
- (14) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
- (15) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など、商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
- (16) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
- (17) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
- (18) 本保証書のご提示がない場合。
- (19) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (20) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口 : クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

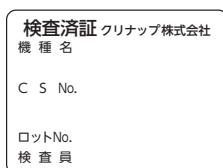
クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検してください。異状がありましたら、工事店・販売店、または下記のクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。またご連絡いただく際は、キャビネット内に貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロット No. も合わせてお知らせください。

《キャビネット貼付シール》



※ CSNO. は、
記載されていない
場合もあります。

《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	☎

廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

アフターサービスのご用命

- ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

- お電話でのご用命

☎0120-126-174

クリナップカスタマーセンター

通話料
無料

- インターネット窓口(クリナップホームページ内)

<https://cleanup.jp/support/>

☞ 右の2次元コードで「お客様サポートサイト」へ



受付時間 9:00～17:00

* 9:00～11:00および12:00～13:00は混みあいます。

* 年末年始はお休みさせていただきます。

* 諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

* インターネット窓口では、Q&A(よくあるご質問)をご紹介します。

修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。

あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

レンジフードフィルターなどの
訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22